



つくば市立春日学園義務教育学校 [茨城県つくば市]

Profile

平成24(2012)年に開校。平成28(2016)年より義務教育学校となる。「未来を開き、社会に貢献できる人材」の育成が目標。

PDF化したお便りを、パソコンでの簡単操作でらくらく配信できる。写真は奥から篠原先生、安孫子先生。

保護者と学校を安心でつなぐ「スクリレ」

つくば市立春日学園義務教育学校は、進取の気風あふれるつくば市の小中一貫校。1274人の生徒を擁します。

「お便り」の確認もアンケート回答もスマホで

「スクリレ」は、長年学校現場に寄り添ってきた理想科学が開発した、学校と保護者をつなぐ連絡手段をデジタル化するサービスです。お便りのスマホ配信、アンケートや連絡をデジタル化する「スクリレオプション※」のほか、画面上の広告を閲覧することで貯まる「スクリレポイント※」は学校の事務用品などと交換が可能。民間企業の広告収益を地域の学校へと還元する、前例のない社会貢献策でもあります。本格運用の前に実証実験に協力いただいたのが、春日学園義務教育学校。「『スクリレ』によって、それまで大量に印刷し配付していた『学校便り』も一気にデジタル化。パソコンからあつという間に配信でき、その効果に非常に驚いています」と綿引良文校長は話します。

保護者のスマホに確実に情報が届くという安心感

7年生の担任で、「スクリレ」で「学年便り」を配信している安孫子愛先生は、「ホームページの掲載や一斉メールは手続きが大変でしたがスクリレの管理画面は操作が簡単なので助かります」と笑顔。希望者には印刷して渡しているが、これまでの配付にかけていた手間と時間が大幅に削減されたと話します。6年生を担当する篠原貴人先生は、「たとえ子どもがプリントをなく

したり渡し忘れても、保護者に確実に伝達内容が届く安心感があります。特に年間行事やテスト日程などいつでもスマホでチェックできるので、保護者の方にも好評です」と続けます。「スクリレ」を通じて家庭内で学校に関する話題が増えたり、子どもの忘れ物が減ったりという副次的な効果も出ているようです。

貯まったポイントは事務用品などに交換

「これまで貯まったポイントは、現場の要望を受けて逆上がり補助ベルトや竹刀25本と交換しました。学校の予算は限られているので、とても嬉しかったですね」と話すのは岩瀬由美子教頭。「保護者の方も、子どもたちのために活用されているとわかって大変協力的です。いま何ポイント貯まっているかチェックするだけでも、自分が貢献できているのがわかって楽しいんですよ」と勝村和之教頭も笑顔です。

「『スクリレ』試行は実験的な試みでしたが、その劇的な効果をもっとも実感しているのは私かもしれません。現場での働き方改革にも確実に貢献してくれていて、嬉しい限りです」と綿引校長は締めくくってくれました。



通知一覧画面



お便り確認画面



パソコンと無線接続され、職員室に設置された「オルフィス」。紙で欲しい保護者に印刷して提供。



2021年4月1日スタート
「スクリレ」なら学校の「お便り」が
確実に保護者へ届く！

スクリレ

学校単位でお申し込みいただけます。



※「スクリレオプション」「スクリレポイント」は2021年9月サービス開始予定。

[YouTube]「スクリレ」で連絡業務が便利に - つくば市立春日学園義務教育学校(理想科学)